

JOYO BANK NEWS LETTER

2019年1月17日

<企画展>「切り絵 たけふたとしお 竹蓋年男展」—常陽史料館—

常陽銀行（頭取 笹島 律夫）は、このたび、常陽史料館（館長 横地 裕昭）において、「切り絵 竹蓋年男展」を開催しますので、下記のとおりお知らせいたします。

日立市出身の切り絵作家・竹蓋年男さんは、歴史的建造物が建ち並ぶ真壁の街並みや地元を受け継がれる祭りなどに感銘を受け、独学で切り絵制作を始めました。

竹蓋さんの作品は神事やひなまつり等を題材に人物を描くことが多く、色とりどりの和紙や古布を巧みに使い分けることで本来“白と黒の美”である切り絵に新たな美しさが加わり、人々の表情もより生き生きと表現されています。

水戸での初めての個展となる今展では、水戸の名所をモチーフとした新作を含む優品を展示します。

記

- 企 画 展 : 「切り絵 竹蓋年男展」
作 者 : 竹蓋年男 氏
会 期 : 2019年1月22日（火）～2019年3月24日（日）
休 館 日 : 毎週月曜日
開 館 時 間 : 10:00～17:45
会 場 : 常陽史料館 アートスポット（入場無料）

以上



常陽銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

常陽銀行

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5

Tel. 029-231-2151 (代表) www.joyobank.co.jp



切り絵 竹蓋年男展

常陽史料館アートのスポット



平成31年 1/22(火) - 3/24(日)

午前10時から午後5時45分 毎週月曜日休館

入場
無料



JR水戸駅北口より、大工町方面行きバスで泉町1丁目下車徒歩7分

T O S H I O T A K E F U T A E X H I B I T I O N

日立市出身の切り絵作家・竹蓋年男さんは、歴史的建造物が立ち並ぶ真壁の街並みや地元を受け継がれる祭りなどに感銘をうけ、独学で切り絵制作を始めました。竹蓋さんが手掛ける古民家や神事、さらに真壁のひなまつりを描いた作品は、和紙や古布を巧みに使い分けた新たな切り絵の美しさを醸し出しています。今展では、水戸での初めての個展開催にあわせ、水戸の名所をモチーフとした新作と優品を展示します。



Workshop ワークショップ

<事前申込が必要となります>

切り絵ワークショップ 「梅の香りに誘われて」

■日 時:平成31年

▲ 2月13日(水) 13:00~15:00

■ 2月27日(水) 13:00~15:00

■定 員:各回とも20名(応募多数の場合は抽選)

■講 師:竹蓋年男氏(切り絵作家)

■参加費:1,000円

■会 場:常陽史料館

■持参品:なし

[ワークショップの申込]

■応募期間:1月22日(火)~29日(火)

■申込方法:

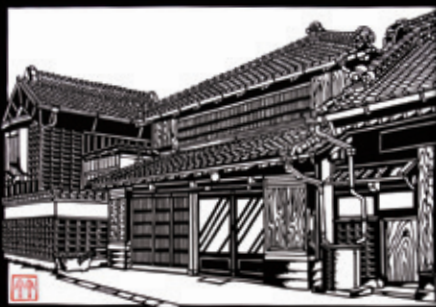
往復はがきにご希望の番号(▲または■)、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上お申込下さい。

<宛先>

〒310-0024 水戸市備前町6-71
常陽史料館「切り絵ワークショップ」係

■お問合せ:

常陽史料館 Tel.029-228-1781



●貨幣ギャラリー

貨幣や銀行に関する資料を展示しております[午後5時まで]。

●史料ライブラリー

郷土の芸術・文化や金融、歴史に関する図書資料をご覧になれます。

ホームページで史料ライブラリーの蔵書検索ができます。どうぞご利用下さい。

●●●●● 図 書 資 料 ●●●●●

「書名の雪月花展」 会期/H31.1/29㊗~H31.3/24㊗

『雪あかり』(横瀬夜雨)、『句集 雪片』(高野素十)、『十五夜お月さん』(野口雨情)、『月夜の牡丹』(山村暮鳥)、『花物語』(西條八十)、『大野誠夫第一歌集 花筏』(大野誠夫)など「雪」「月」「花」にちなんだ書名の文学書を展示します。